

緩和ケア学

授業概要

緩和ケア学では、癌性疼痛の診断、治療について広く学ぶ。

担当教員

齊藤洋司（主担当） 教授・麻酔科学
堀口 淳 教授・精神医学
猪俣泰典 教授・放射線腫瘍学

一般目標 general instructional objectives

1. がん医療における緩和ケアの意義、役割を理解する。
2. 全人的痛みの評価、緩和を学ぶ。
3. がんの痛みの特徴と治療を学ぶ。

行動目標 specific behavioral objectives

1. 緩和ケアの意義を説明できる。
2. 早期からの緩和ケアを行うことができる。
3. 全人的な痛みを4側面から評価できる。
4. がんの痛みの機序を説明できる。
5. 非がん患者の緩和ケアの適応について説明できる。
6. 精神的痛みの特徴と緩和について説明できる。
7. スピリチュアルな痛みの特徴と緩和について説明できる。
8. 緩和的放射線治療の特徴について説明できる。

成績評価の方法

すべての講義および演習が終わった後、規定の出席率(2/3以上)を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

使用テキスト・参考文献

適宜、資料を配布する。

教育内容（講義および演習）

回	授業内容	担 当
1	がんの痛みの特徴と機序	齊藤洋司
2	神経障害性痛の病態生理	〃
3	内臓痛の特徴と機序	〃
4	オピオイドの作用機序	〃
5	呼吸困難とオピオイド	〃
6	全人的痛みと緩和ケア	〃
7	主な身体的苦痛と緩和ケア	〃
8	がん性痛の薬物療法	〃
9	がん性痛の神経ブロック療法	〃
10	緩和ケアと多職種協働	〃
11	地域連携と療養の場	〃
12	がん患者の不安・抑うつ	堀口 淳
13	がん医療におけるコミュニケーション	〃
14	緩和ケアにおいて放射線治療の果たす役割	猪俣泰典
15	緩和ケアにおける放射線治療の実際	〃